2021年度 躍進する大学の学長メッセージ

企画・制作 株式会社インターアドミッション

愛知大学

「第5次基本構想」が今年度スタート。変化に柔軟に対応できる自律的人材を育成。

理事長・学長 川井 伸一

愛知大学は、10年後のVISION（大学像）の達成に向けた「基本構想」を5年ごとに策定しており、今年度から新しい「第5次基本構想」がスタートしました。

「第5次基本構想」でめざすVISIONの概要は、「高い志を持ち、自ら柔軟に考え判断でき、変化に対応できる自律的な人材」と「世界と地域社会の諸課題に関心をもち、その解決に協働して取り組む人材」の育成です。第4次産業革命やSociety5.0、持続可能な開発目標（SDGs）、一層のグローバル化、地方創生の課題といった、社会の発展に寄与できる人材を育成していきます。特に、社会変化のスピードが加速し、従来のやり方が持続的に効果を発揮していくのかが分からない時代にあっても活躍することができる自律的な力の養成を重視します。それは、新たな課題に直面した際に、課題の意味を多面から検討し、具体的な仮説付けをしながら判断をして結論を出す学問の方法論をもって、新しい知見や適切な判断を自ら導くことができる力です。

教学の強化にも取り組んでいます。今年4月に、文学部に歴史地理学科と日本語日本文学科を新設したほか、法曹を学部3年間と法科大学院2年間で養成する法科大学院養成コースを法学部に新設しました。本学法科大学院は司法試験合格で高い実績をあげており、令和2年度の司法試験合格率は77.7%（合格者7人、受験者9人）で、全法科大学院の中で第1位となっています。

「第5次基本構想」はこれまでの教育研究実績と未来をつなぐプランであり、VISIONと共に定めた4つの基本目標のもと、学生の未来を見据えた教育研究を提供していきたいと考えています。

名古屋キャンパス

豊橋キャンパス

名古屋キャンパス　豊橋キャンパス　車道キャンパス　東京麹町オフィス
法学部　経済学部　経営学部　現代中国学部　国際コミュニケーション学部　文学部　地域政策学部　総合大学院　大学院　法科大学院

問い合わせ　愛知大学 企画部 広報課
〒461-8641　名古屋市東区筒井2-10-31
TEL. 052-937-6762　FAX. 052-937-4816

愛知教育大学

「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」を目指して

学長 野田 敦敬

愛知教育大学では、広域拠点型教員養成大学として「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」を目標に掲げています。

「子どもの声が聞こえるキャンパス」では、学生や教員が各教育組織の特色を生かした子ども向けのイベント等を開催することで、本学を訪れた子どもたちが楽しみながら学ぶ「『遊び』と『学び』の一体化」を図ります。また、この取り組みを通じて、学生が教職への意欲を向上し、子どもたちが学生や教職を身近に感じることを目指しています。

「地域から頼られる大学」としては、外国人児童・生徒支援、発達障害等の特別支援教育など、地域の教育課題に同じ目線で取り組み、解決に向けて貢献します。さらに、ユネスコスクールとして、SDGsにも積極的に取り組んでいきます。

教員採用試験の志願倍率の低下も、教育大学である本学が取り組むべき課題の一つです。小学校教員採用試験の倍率の全国平均が2.7倍と過去最低を記録する一方で、35人学級の実施で約1万人の教師が必要になると言われています。今こそ、社会全体で「教職の魅力」について考え創り上げていく必要があります。昨年8月に教職の魅力を様々な立場の方々と共に考える「教職の魅力共創プロジェクト」を立ち上げ、アンケート調査やリーフレットの作成、シンポジウム等を行ってきました。ぜひ、本プロジェクトのWebサイトをご覧ください。時代とともに変わる「教職の魅力」を共に創り上げていきましょう。

教職の魅力共創プロジェクトWebサイト

2021年4月 学部改組により学校教員養成課程が誕生!

今春、学部教員養成4課程を学校教員養成課程に改組します。この改組により、社会的ニーズが高まる特別支援学校教諭免許状を取得可能な専攻が拡大します。義務教育専攻では小学校と中学校の9年間を見通した教育ができる教員を養成し、さらに新設となる高等学校教育専攻では、教科と教職に関する広範な知識に基づき、多様な学習ニーズに対応可能な高等学校教員を養成します。

●教育学部　学校教員養成課程　教育支援専門職養成課程
●教育学研究科　教育実践高度化専攻　教育支援高度化専攻　共同教科開発専攻

問い合わせ　愛知教育大学
https://www.aichi-edu.ac.jp/
〒448-8542　愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
TEL. 0566-26-2111（案内）

愛知工業大学

「ものづくり」を通じたSDGsへの取り組み

学長 後藤 泰之

愛知工業大学は、1959年に「自由・愛・正義」の建学の精神のもと、ものづくり教育を柱に創造力と豊かな人間性を備えた人材育成に努めてまいりました。

「ものづくり」の在り方は時代とともに変化しており、本学では常に5年先、10年先を見据え、自然エネルギーなど環境に配慮した教育研究に取り組み、加えてグローバル社会にも対応できる持続可能な教育研究を実践しています。

近年は、地元豊田市との包括連携協定により知的・人的資源を活用した連携の強化を図るとともに、2020年には「とよたSDGsパートナー」に登録し、持続可能な社会の実現に向け、豊田市との連携・協力を強化して様々な取り組みを行っています。

また芝浦工業大学、大阪工業大学など国内の理工系8大学による「工大サミット」に参加しており、ワークショップや学生による発表・情報交換などのイベントを通して、理工系の高等教育をさらに高める活動を継続して行っています。

コロナ禍の社会においては、学生の安全を第一に考えながら質の高い教育・研究を継続して行うよう取り組んでまいります。

学生の夢を応援する「学生チャレンジプロジェクト」

レスキューロボットやソーラーカーなどの製作、競技コンペや宇宙機開発プロジェクトなど、学生がコンテストに参加するための資金や材料費などをバックアップする「学生チャレンジプロジェクト」では、ものづくりに挑戦する学生の情熱を応援しています。

数字が証明する「就職に強い愛工大」

2020年3月卒業生の実就職率
大学全体 97.9%（全国4位）
卒業者数 1,203人　就職者数 1,059人
大学院進学者数 121人
※大学通信ONLINE（2020年4月29日号）
最新実就職ランキング（卒業生1000人以上）

中部地方の地元企業力企業が多数ランクされている理由は明確

●学　部　工学部　経営学部　情報科学部
●大学院　工学研究科　経営情報科学研究科

問い合わせ　名古屋電気学園（愛知工業大学）広報課
https://www.ait.ac.jp
〒470-0392　愛知県豊田市八草町八千草1247
TEL. 0565-48-8177　FAX. 0565-48-0277

岐阜大学

地域貢献の中核拠点活動と国際レベルの教育・研究を両輪として駆動します

学長 森脇 久隆

岐阜大学は2020年4月に名古屋大学と法人統合を行い、国立大学法人東海国立大学機構を形成しました。管理・運営を行う一つの法人のもとに、教育・研究を行う岐阜大学と名古屋大学がぶら下がる格好です。英語や数理データサイエンスなどの共通教育と、基礎生命科学研究や航空宇宙生産技術など最先端研究からすでに飛躍が始まっており、その成果は地域活性化にも大きく還元されます。

さて本学は1949年の創立ですが各学部はさらに古い歴史を有し、受け継がれてきた大学のモットーは「人が育つ場所」、育成の目標は「学び究め貢献する」人材です。全学部の移転統合は2004年に完成し、「地域活性化の中核拠点であると同時に、強み・特色を有する分野で全国的、国際的な教育・研究の中核拠点」を形成しています。尖端的特徴は前記の通り生命科学、環境エネルギー、ものづくりにあります。さらに「医学教育開発センター」は国内唯一の存在であり、昨年修士課程が開設されました。一方、地域活性化の拠点としての「知（地）の拠点Center of community: COC」活動は全国のモデルです。各地域の課題解決に大学の知を結集して当たるとともに、そのような人材の育成、地元定着に取り組みます。この目的に沿う学部相当の組織として「社会システム経営学環」が今年第1期生を迎えます。

尖った分野で世界的な活躍を目指したい諸君、また東海地区・岐阜県の地元に定着し様々な領域で活躍を目指したい諸君の入学を期待します。緑あふれる豊かな環境のキャンパスで一緒に学びましょう。

東海国立大学機構により教育・研究・地域貢献を推進

新たに発足した国立大学法人東海国立大学機構のロゴは、東海の"T"と、国立の"N"を組み合わせることで、伝統的かつオーソドックスなイメージを保ちわかいようにするとともに、新しい価値（NEW STANDARD）の"N"をも内在させ、発展性を表すものとなっています。ロゴ自体にキャッチフレーズを含めることで、「我々が、新たな大学モデルを創出する」という強いメッセージを打ち出しました。

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構

●学部等　教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生命科学部、社会システム経営学環　●大学院　教育学研究科、地域科学研究科、医学系研究科、工学研究科、自然科学技術研究科、共同獣医学研究科、連合農学研究科、連合創薬医療情報研究科、共同教育大学院岐阜大学教育学研究科（連合）

問い合わせ　岐阜大学
https://gifu-u.ac.jp/
〒501-1193　岐阜県岐阜市柳戸1番1
TEL. 058-230-1111（代）

中部大学

文理融合型の充実した教育研究で「あてになる人間」を育成。社会から信頼される「あてになる大学」へ。

学長 竹内 芳美

文理にわたる7学部がワンキャンパスにある中部大学の特色は、多様な分野を学べる教育や学部を超えた交流によって、未知の可能性を開花させるチャンスに満ちていることにあります。教育と研究を成す研究活動においては世界レベルの研究と研究者を多数擁しており、その先端的研究成果を教育に生かすことで学生の知的好奇心を大いに刺激しています。

新しい教育研究の取り組みとして、本年度からICT（情報通信技術）社会に必要な基礎的素養の育成を目標にしたAI数理データサイエンス教育プログラムが始まります。また、創造的リベラルアーツ教育も充実させるため「知識・経験・思考・視野」の限界から解放し、総合的な人間力を培うためディスカッションなどを取り入れた問題解決型の授業を展開していきます。

さらに、国連のSDGs（持続可能な開発目標）達成に寄与する教育研究を一層推進していきます。本学は、2007年からESD（持続可能な開発のための教育）の地域ネットワーク「中部ESD拠点」の幹事機関を担うと共に、SDGsが掲げる17ゴール169ターゲットを視野に入れた「国際ESD・SDGsセンター」を設置しています。教員同士によるSDGsに通じる研究の情報交換や連携、卒業研究やゼミによる学生への指導などを通じて、全学的にSDGsの達成に向けた意識と知識を高めています。

中部大学の建学の精神は、「不言実行、あてになる人間」です。時代が変わっても社会から信頼される人間力を備えた人材を育成する「あてになる大学」として、自立心、公益心、豊かな教養、国際的視野、専門的能力を備えた人材の育成に教職員全員が全力で取り組んでいます。

先進的な研究教育施設と豊かな自然が調和する広大なキャンパスには、きらきらな夢を持つ1万人を超える学生が各地から集まっています。ここで体験できる多様な交流が、学生の人間的成長を促しています。

●学　部　工学部　経営情報学部　国際教養学部　人文学部　応用生命学部　生命健康科学部　現代教育学部
●大学院　工学研究科　経営情報学研究科　国際人間学研究科　応用生命学研究科　生命健康科学研究科　教育学研究科

問い合わせ　中部大学 学園広報部 広報課
https://www.chubu.ac.jp/
〒487-8501　愛知県春日井市松本町1200
TEL. 0568-51-7638　FAX. 0568-51-1186

東海学園大学

「ともいき教養教育」を全学的に展開 環境や多文化共生に関する講義や実習を整備

学長 松原 武久

東海学園大学は、133年の歴史と10万人を超える学園同窓生を送り出してきた東海学園の一員として、1995年に誕生した4年制大学です。浄土宗の教えに基づく「共生（ともいき）」を教育の理念とし、学生一人ひとりが個性を認め合う、こころ豊かな人間の育成を目指した総合的な教養教育を実践してきました。

これからの社会は、人生100年時代、AIの技術進化など、これまで以上に自分の頭で考え、行動する力が求められています。その力に必要なのは「実践知」、すなわち実践に結びつく知恵です。その知恵を広げ、深め、生かす力を養うために、本学ではゼミや演習を通じた議論や学外での実習を重視しています。また、次代を切り拓くには、イノベーション力とグローバルな教養も欠かせません。日本と世界の関係性、環境問題、異文化や多様な価値観を理解する力と、そこでの問題を解決できる力です。

東海学園大学では、2020年から「ともいき教養教育」を全学的に展開し、自然環境保全や多文化共生など様々な領域へ見識を広げる学びを提供しています。教養教育は、「柔軟な思考を生む」礎になるものとして、近年改めて重視されています。新たな知識や情報を溜め込むのではなく、それらを自ら選別し、結び付け、活用するために思索する力をここで身に付け、社会で活躍してほしいと願います。

さらに本学では、それぞれの目指す進路に合わせたキャリア支援「キャリア・サポート・プログラム」を用意しています。このプログラムを構成する「キャリア・ディベロップメント・プログラム」「公務員サポートプログラム」「教職サポートプログラム」の3種類のプログラムでは、より実践的な能力向上を支援し、学生の自己実現をさらに力強くサポートしています。

今、社会はコロナ禍の中、厳しい状況におかれていますが、「明けない夜はない」の言葉を信じ、皆さんと一丸となり、この難局に立ち向かいたいと思います。

●学　部　経営学部／経営学科　人文学部／人文学科　心理学部／心理学科　教育学部／教育学科　スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学科　健康栄養学部／管理栄養学科
●大学院　経営学研究科

問い合わせ　東海学園大学 入試広報課
https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/
〒468-8514　愛知県名古屋市天白区中平二丁目901番地
TEL. 052-801-1204

名古屋大学

新しい国立大学のカタチを創る

総長 松尾 清一

名古屋大学はその源流である仮病院、仮医学校の創設以来150年の歴史を持ち、この地域の基幹大学として発展してきました。本学が誇る自由闊達な学風の下、6人のノーベル賞受賞者や数多くの産業界のリーダーを輩出しています。

名古屋大学は2020年4月に岐阜大学との法人統合により東海国立大学機構をスタートさせ、「地域は世界に通じ、世界は地域に通じる」という認識の下、両大学の力を合わせて、地域創生への貢献と国際競争力の強化を同時に達成する新たな国立大学づくりにチャレンジしています。

現代社会においては、デジタルトランスフォーメーションが加速する一方で地球温暖化などの人類的課題の解決が迫られています。コロナ後の新時代において、知の拠点である大学への期待はこれまで以上に高まっています。とりわけ、希望あふれる未来社会を創り支える人材の育成は名古屋大学の使命です。名古屋大学は今後、東海国立大学機構のもとで、国内外の大学はもとより産業界、自治体、国などと多様な連携を図りながら、新しい価値の創造と勇気ある知識人の育成をめざして、教育、研究、国際化、社会連携、財務経営等、あらゆる面で積極的に取り組んでいく所存です。

「改革を進め、進化する名古屋大学」は、今後も世界に伍する国立大学として、たゆむことなく挑戦を続けてゆきます。

中部圏のスタートアップ都市の構築

2020年6月、愛知・名古屋・浜松地域は、国によって「スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市」に指定されました。本学はこれまで、「Tongali（とんがり）プロジェクト」など、大学発スタートアップベンチャーの育成を主導してきました。今回の指定を機にアカデミア、産業界、自治体などとの連携を一層密にして、この地域を未来型に転換するため起業人材育成とオープンイノベーションを推進してゆきます。

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構

問い合わせ　名古屋大学教育推進部入試課
http://www.nagoya-u.ac.jp/
〒464-8601　名古屋市千種区不老町
TEL. 052-789-5765

名古屋芸術大学

芸術の力で、これからの社会に新しい発想と価値を生み出す

学長 竹本 義明

名古屋芸術大学は、私立大学では日本で最初の芸術系総合大学として1970年に設立され、半世紀以上の歴史を持ちます。芸術の各分野を専門的に学ぶ芸術系学部と、全国でも珍しい芸術大学の中にある教育・保育系学部の2学部を併せ持つ本学は、建学の精神である「至誠奉仕」に則り、人間性の不断の陶冶と豊かな感性、そして創造力に富んだ人材の育成に取り組んでまいりました。

さて、芸術学部芸術学科では、この2021年4月から「舞台芸術領域」が新たにスタートしました。本学がこれまで構想を進めてきた、芸術の各分野を融合させる「総合芸術」としての学びの場が実現し、より有機的かつ横断的な学びが可能となります。音楽や美術、デザインそれぞれの専門性を生かしつつ、分野の壁を越えて交流することで、新しい発想や表現が生まれ、より深い学びにつながることが期待されます。また2022年4月からは、教育・保育系学部の人間発達学部が「教育学部子ども学科」に名称変更を予定するなど、名古屋芸術大学は今後も進化し続けてまいります。

コロナ禍により生活や価値観が大きく変化しつつある現在、今あらためて「芸術」が社会に果たす役割が見直されています。人間存在の礎である芸術や文化が、今後も地域社会において発展し続けるために、私たち「芸術大学」が担う責務は大変大きいと感じております。時代の変化、在り方に柔軟に対応しながら、芸術・文化活動のさらなる振興と推進に尽力し、また教育・研究活動を通じて学生一人ひとりが持つ個性と豊かな感性を育むことで、これからの社会に新しい発想と価値を生み出すことができる人材の輩出を目指しています。

2022年4月「教育学部子ども学科」スタート

これまで教育・保育の現場に多数の卒業生を輩出してきた人間発達学部は、「教育学部子ども学科」に生まれ変わります。今日の教育・保育の現場が直面する様々な課題に対応すべく、これまでの小学校・幼稚園教諭や保育士の養成に加え、児童英語や学校ICT、芸術、運動、児童福祉など子どもに関するアつの専門コースを用意。これからの時代の教育・保育現場で求められる専門性を身に付けた人材の輩出に取り組みます。

●学　部　芸術学部　芸術学科（音楽領域、美術領域、デザイン領域、芸術教養領域、舞台芸術領域）　人間発達学部　子ども発達学科（2022年4月「教育学部子ども学科」に名称変更予定）

問い合わせ　名古屋芸術大学 広報部
https://www.nua.ac.jp/
〒481-8503 名古屋市西区庄内井281番地
TEL. 0568-24-0318

名古屋工業大学

技術の糸と心の糸が織り成すイノベーション創出

学長 木下 陽平

名古屋工業大学は、中京地域の住民の皆さんや自治体・産業界等を大切なステークホルダーに掲げ、若業を担う実践的工学エリート人材の育成やゆとり有る豊かな生活を支える技術の創出に全力で取り組んでいます。

地域産業界が求める工学人材養成のため新設した6年一貫の「創造工学教育課程」から、2022年の春、第1期生が卒業します。また2020年4月には、大学院修士課程を再編して分野横断的な教育・研究を円滑化するプログラム制がスタートしました。加えて、2022年4月からは、同様の再編を大学院後期課程まで拡張し、異分野を跨ぐ融合研究が本格的に始動します。このように従来の枠組みを超えて再編した工学教育体制の下、時代の先を行くイノベーション・リーダーやグローバルに活躍力のある技術者・研究者の育成が着々と進んでいます。また、キャンパスの多様化・グローバル化も強力に進めており、若手研究者を積極的に雇用する一方、女性研究者については、修士課程の女子学生を対象としたスタートアップ助教制度を2020年4月から開設し、本学雇用の下、後期課程で学位を取得し、その後教員として歩む道を開拓しました。更にコロナ禍においてもリモートをフル活用しつつ、諸外国との国際共同研究も拡充しています。

コロナが加速するデジタル社会の到来に備え、これを明るく健全な社会に繋げるため、人や地球環境を中心に据えた工学教育・研究、即ち本学が唱える「心で工学」が益々重要になっています。

名古屋工業大学は技術の糸と心の糸が織り成すイノベーションの創出を通じて、人に寄り添う工学を確立し、心豊かな社会の構築に貢献してまいります。

6年一貫の創造工学教育課程

名古屋工業大学では、6年一貫で教育する創造工学教育課程を開設しています。創造工学教育課程の特徴は、（1）学部4年間と大学院2年間を接続した6年一貫のカリキュラム、（2）一人ひとりの学習目標に応じて受講する授業を学内の全ての分野から横断的に設計、（3）「研究室ローテーション」など実践的な科目の提供、（4）メンター教員による手厚いフォロー体制。これらにより、広い工学分野のセンスをもつ総合的エンジニアを育成しています。

●名工工学教育課程　生命・応用化学科、物質工学科、電気・機械工学科、情報工学科、社会工学科
●創造工学教育課程　学部4年一貫
●後期学部（第二部）　物質工学科、機械工学科、電気情報工学科、社会開発工学科
※高等工学教育課程（仮称）　2022年4月開設予定（設置届可申請中）

問い合わせ　名古屋工業大学
https://www.nitech.ac.jp
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL. 052-732-2111（代）

名古屋市立大学

地域に愛され世界をリードする大学

理事長・学長 郡 健二郎

名古屋市立大学（名市大）は、1884年開設の名古屋薬学校と、1943年開設の名古屋市立女子高等医学専門学校を源流とする公立大学としてスタートし、今年で開学71年目を迎えました。医学部、薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部、総合生命理学部の7学部と大学院7研究科からなる総合大学に発展してきました。これからも「地域に愛され世界をリードする名市大」を目指してまいります。

今年2月、約100名の教職員が中心となり、名市大が今後進むべき方向性を長期的かつ戦略的な視点で示す道しるべとなる「名市大未来プラン2021」を策定しました。全ての教職員が一体となり、48のプランを実現してまいります。

また、4月には東部医療センター・西部医療センターが名市大の医学部附属病院となりました。これにより、名市大病院を含む3病院で病床数が約1,800床となる、国公立大学で全国最大級の大学病院群が誕生し、高度先進医療・大規模臨床研究・優れた医療人の育成等が一層進展します。

このほか、2025年には名市大病院に「救急・災害医療センター（仮称）」がオープン予定です。これは最先端の医療設備を備え、延べ床面積は約28,000㎡を誇る全国最大級の施設です。救急医療のみならず、大災害時において医療をリードする地域の中核的医療機関として市民の皆様の健康と安全を守ります。今後も暖かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

名古屋市立大学医学部附属病院 東部医療センター

名古屋市立大学医学部附属病院 西部医療センター

名市大ブックスを創刊

2020年に開学70周年を迎えた名市大の新たな社会貢献活動として、書籍シリーズ「名市大ブックス」を創刊しました。教員らが持つ知識・教養をまとめ、書籍化したものです。まずは「健康・医療」をテーマに、医師らが病気の予防策や先進の治療法をわかりやすく解説しています。お近くの書店やインターネットからもお買い求めいただけますので、是非ご一読ください。

●学　部　医学部、薬学部、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、看護学部、総合生命理学部
●大学院　医学研究科、薬学研究科、経済学研究科、人間文化研究科、芸術工学研究科、看護学研究科、理学研究科

問い合わせ　名古屋市立大学事務局企画広報課
https://www.nagoya-cu.ac.jp/
〒467-8601　名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL. 052-853-8328　FAX. 052-853-0551

南山大学

「個の力を、世界の力に。」

学長 ロバート・キサラ

南山大学は、男女共学の大学としては中部圏唯一のカトリック系ミッションスクールであり、『Hominis Dignitati（人間の尊厳のために）』という教育モットーを掲げています。南山大学は国際性の面で高い評価を受けていますが、国際社会の舞台で活躍するためには、自らの尊厳を理解すると同時に、他者も自分と同じように人としての尊厳を持つことを理解しなければなりません。「個の力を、世界の力に。」というビジョンをより具現化させ、多様な人々と共生・協働しながら目の前の課題を解決していける人材、豊かな国際力と専門性を併せ持った人材を育成し、『国境のない学びの場』の実現を目指します。

2017年よりクォーター制（4学期制）を導入し、全学部で独自に展開する短期留学プログラムの整備やラーニング・コモンズの増設など、学生の主体的な学びや交流を更に活発化させました。また、海外に在住する外国人留学生別科の留学生とオンラインで交流する「Language Buddy」システムやCOIL*型授業を実施するなど、現在のコロナ禍においてもオンラインを活用した国際交流の機会を提供し、学生の異文化理解力や国際性を育んでいます。さらに、2022年4月には国際感覚豊かなグローバルリーダー育成のため、外国人留学生と日本人学生が混住する国際教育寮の開設も計画しています。

「個の力を、世界の力に。」の実現のため、今後も多様な取り組みを実践していきます。

2021年、創立75周年を迎えます

中部地区初の外国語専門学校から始まり、現在では8学部18学科を擁する総合大学となった南山大学は、創立以来、常に世界とともに歩み続けてまいりました。
その歩みを止めることなく、これからも「絶えざる自己改革」を推進し、世界から選ばれる大学であり続けます。

つなごう、未来へ

*COIL（Collaborative Online International Learning）とは、SNSやビデオチャットなどのオンラインツールを活用した国際的な双方向の教育手法のことです。

●学　部　人文学部　外国語学部　経済学部　経営学部　法学部　総合政策学部　理工学部　国際教養学部
●大学院　人間文化研究科　国際地域文化研究科　社会科学研究科　法学研究科　理工学研究科　法務研究科

問い合わせ　南山大学　学長室
https://www.nanzan-u.ac.jp/
〒466-8673　愛知県名古屋市昭和区山里町18
TEL. 052-832-3113

三重大学

つながる知、ひらく未来、地域共創大学へ

学長 伊藤正明

三重大学は"三重の力を世界へ"の言葉のもと、昭和24年の建学以来、人と自然の調和・共生の中で、地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出すことを基本理念としてきました。「樹（松）のみどり」、「海のみどり」、「空のみどり」という《三翠》の自然豊かな広いキャンパスに、5学部6研究科と大学病院が集まって、教育、研究、診療活動を行っています。

三重県全体を活動フィールドとし、各地域の特性に応じた特色・課題を探究して、三重大学特有の教育研究活動につなげています。産学連携の北勢サテライト、忍者研究の伊賀サテライト、海女研究・海洋生物研究の伊勢志摩サテライト、農林水産省や過疎地域の学校教育に関わる東紀州サテライトなど、地域拠点サテライトが各々のミッションを担って活動しています。

教育面では、社会の課題を発見し（感じる力）、情報収集してその解決法を考え（考える力）、コミュニケーションを駆使して（コミュニケーション力）、その課題を解決する（生きる力）、という《4つの力》を持った人材の育成を進めています。

研究面では、次世代型電池開発や人間共生ロボティクス・メカトロニクス、特異構造の結晶科学、次世代型VLPワクチン研究開発、次世代創薬・ゼブラフィッシュスクリーニング、コーディネート育種苗盤創生などのテーマを持った卓越型リサーチセンターを設置し、世界的レベルの高度な研究を展開しています。

令和の新しい時代、三重大学は《知の拠点》として、学内外の組織との連携を深めます。学部間の異分野横断的な取り組みや、自治体および企業との産学官の地域連携プラットフォーム、国内外の高等教育機関との連携協定など、様々な《知のつながり》を通じて、ポストコロナ時代の教育研究活動を推進します。さらに、カーボンニュートラル等の環境問題をはじめとする諸課題を地域と共に探究し、その成果を還元して地域の発展を導き、新しいコミュニティづくりの一役を担う地域共創大学として発展してまいります。

●学　部　人文学部　教育学部　医学部　工学部　生物資源学部
●大学院　人文社会学研究科　教育学研究科　医学系研究科　工学研究科　生物資源学研究科　地域イノベーション学研究科

問い合わせ　三重大学
https://www.mie-u.ac.jp/
〒514-8507　三重県津市栗真町屋町1577
TEL. 059-232-1211（代）